



## 明神山から世界遺産ビューと達磨寺へ

JR 王寺駅 9:30 集合 出欠確認、何と6名の欠席者が・・・。それも仕方ない！何といっても昨夜から何度も天気予報で今日は寒くなる！雪になる！と繰り返し放送していたもの。それでも24名が元気に参加した。王寺駅前からバスに乗り明神山登山口近くまで行く。



登山口の大きな鳥居

きれいに舗装されて歩きやすい登山道をおしゃべりしながら約40分で標高276.3mの頂上に着く。心配した天気も悪くなく少々寒いが360°の大パノラマを堪能する。



←悠久の鐘の前で。

恋人どうしが一緒に鐘をついて永遠の愛を誓うとか・・・。フーン 関係のない人たちの集合写真。

無料の望遠鏡が置いてある。あれが三輪山、畝傍山、信貴山、亀の瀬、葛城、金剛山・・・若草山、東大寺、法隆寺・・・阿倍野ハルカス・・・

肉眼でもよく見えて大感激。おしゃべりが弾む。



明神山を下って 尼寺 廃寺跡史跡公園へ。一部ガラス張りの床下に全国最大の塔心礎のレプリカが展示してある。



←乳垂地蔵（ままだれじぞう）

お参りすれば母乳の出が良くなるとのこと。

何にでも興味津々の仲間たち



芦田池→

「日本書紀」に、聖徳太子の進言によって、大和の国に新しく4つのため池が造られたとあり、その内のひとつ。



←片岡神社

延喜式神名帳に、『大和国葛下郡 片岡坐神社 名神大 月次新嘗』とある式内社。資料は少ないが聖徳太子の逸話が残る古い神社。



↑放光寺（片岡王寺）

聖徳太子建立の46か寺のひとつ。太子葬送の道が通る場所にある。王寺町の町名の由来にもなった寺。



←達磨寺

千載さんと同級生のご住職からお話を伺う。発掘された小さな石塔の中から水晶の塔が、その中から仏舎利が・・・ジョークを交えた楽しいお話。

木造千手観音坐像 木造達磨坐像 木造聖徳太子坐像も間近に拝観でき、暖かい室内でご住職のお話が続く。  
 王寺町は、奈良県の西北部に位置し、町域の北、西側を大和川が流れ、中心部にある片岡山の麓を大和川の支流・葛下川が流れています。地勢的には、金剛・葛城山脈と信貴・生駒山脈との接点にあたり、大和文化の源流として古くから注目されていました。・・・(町長より) 担当：森・桜木・冨井 アルバム：青木(幸)